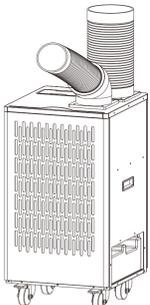


冷暖スターディスプレイクーラーPR/自動首振り  
PMSC-32J

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
正しく使っていただくため、ご使用になる前にはこの「取扱説明書」をよくお読み下さい。  
尚、安全のために、警告や注意・禁止事項は必ずお守り下さい。  
お読みになった後は、必要な時に再読出来るように大切に保管して下さい。



この機器は日本国内専用です。

安全上のご注意

本機を正しく安全にお使いいただくために、つぎの事項を必ずお守り下さい。  
絵表示について

この取扱説明書および製品への表示には、製品を安全に正しくお使いいただくため、お客様にご使用になられる方への注意や取扱いへの注意を必ずお読みいただくための、いろいろな絵表示をしております。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

●この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我を負う可能性が想定される内容を示しています。

●この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我を負う可能性が想定される内容および、製品の破損が想定される内容を示しています。

※お読みになった後は、お使いになる方いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

本体	記号は注意内容	高温注意
	記号は禁止内容	発火注意
	記号は指示内容	破損注意
取扱説明書	一般的な禁止	分解禁止
	一般的な指示	接触禁止
	電源プラグを抜く	電線が露出する

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 電源プラグの抜き差しによる運転や停止をしない。感電やショートの原因になります。製品の上に乗りたり物を載せたりしない。転倒・落下によるケガ、こぼれた水による漏電などの原因になります。可燃性のスプレーを近くで使用しない。また、近くに可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで発火の原因になります。水のかかるごとの使用禁止。
- 電源プラグは定期的に確認する。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災などの原因になります。ブレーカー付タップの取り付けが厳禁です。ブレーカー付タップが取り付けられていないと製品の破損や、発火の原因になります。漏電や断線の取り付けが必要で、漏電や断線が取り付けられていないと感電の原因になります。漏電や断線の作動を定期的に確認する。検査されるごときは取扱説明書を添付のこと。
- 空気の吹き出し口や吸い込み口に布や棒などを入れない。内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。
- 電源プラグの差し込みは確実に。使用時以外は電源プラグを抜く。電源プラグを抜くときは、プラグの先端を持って抜く。使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や火災の原因になります。日常点検、手入れ時にも必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。長期使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く。ホコリが溜まると発熱、発火の原因になります。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。

使用上の注意（警告）

警告

- 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されるもの。
- 接触禁止**  
濡れた手でスイッチ操作などをしないで、ファンに直接手を触れないでください。また、電源プラグなどの電気部品には触れないでください。感電の原因になります。

分解禁止

- 改造はしない。改造された場合は、保証対象外となります。専門業者以外の方は絶対に分解、修理をしない。分解、修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。フィルター罩を開けたまま運転しない。機械内部に触れるとケガ・感電の原因になります。製品や機械室に直接水をかけない。また、水を使って洗わないでください。感電や火災などの原因になります。電源コードを破損したり加工しない。重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさまんだりすると電源コードが破損し、感電や火災などの原因になります。

異常時は運転を停止し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。

- 異常時は運転を停止し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。漏電や断線が作動したときは、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。無理に電源の復帰をすると、感電・火災などの原因になります。誤作動は専門業者にご相談ください。

- ぬえ付けに不備があると、水などの漏れ、感電・火災などの原因になります。電源は専用コンセントを使用してください。電源コードの途中接続、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。清掃・整備・点検のときは、元電源をしゃ断する。感電やケガ、火傷などの原因になります。

- アース線を必ず接地すること。アース付端子はアースコンセントを使用してください。アース端子がない場合はアース接地工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針などに接続しないでください。アース接地工事が不完全ですと、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

- 電源は専用コンセントを使用してください。また、電源コードは途中で接続したり、タコ足配線をしてしないでください。感電や発熱・火災の原因になります。異常時は運転を止めから元電源をしゃ断し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。換気の出来る環境でご使用してください。移動する際は本体機の取っ手を使って移動してください。底部分はネジの突起が出ているため、手等を入れてください。

本製品ご使用に際してのお願い

この製品は設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

設計上の標準使用期間 5年

設計上の標準使用期間算定条件		条件
使用環境	使用条件	100V 50/60Hz 定格消費電力
	温度	35 度
	湿度	相対湿度 65%
想定時間	一日あたりの使用時間	8 時間
	一日の使用回数	5 回
	一年間の使用回数	110 回
	首振り運転の割合	100%

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間のことをいいます。

※製品の保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

ご注意  
・本製品は、設計標準使用期間を「5年」と算定しており、適切な点検をすることなく、その期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

・本製品の設計標準使用期間は、上記使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計標準使用期間を設定しております。本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使いいただいた場合においては、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなる場合がございます。

・設計標準使用期間内であっても製品を目的外の用途で使用された場合、または、取扱説明書の注意・警告にて禁止された環境でご使用された場合は、製品の破損や重大事故発生のおそれが高まるので、そのようなご使用はお控えいただくようお願いいたします。設計標準使用期間内であっても製品を目的外の用途で使用された場合、または、取扱説明書の注意・警告にて禁止された環境でご使用された場合は、製品の破損や重大事故発生のおそれが高まるので、そのようなご使用はお控えいただくようお願いいたします。

仕様

型式	PMSC-32J
電源	単相100V 50/60Hz
冷房能力kW	2.12/2.57
消費電力（冷房）kW	1.15/1.3
消費電力（暖房）kW	1.25/1.3
定格電流（冷房）A	12.2/13
定格電流（暖房）A	12.6/13A
圧縮機	全閉ロータリー定格出力0.94KW
冷媒	HFC R32 地球温暖化係数：GWP675
冷媒封入量g	280
圧縮機保護装置	オーバードローブプロテクター
除湿水処理方法	5リットルドレン用ポリタンク
外形寸法	W405xD430xH825mm（ダクト含まず）
質量	約2m
重量	約47kg
冷房使用環境	18～55℃
暖房使用環境	3～22℃

※上記冷房能力や電気特性は周囲温度 35℃ 相対湿度 60% の条件で換冷風運転時の値です。

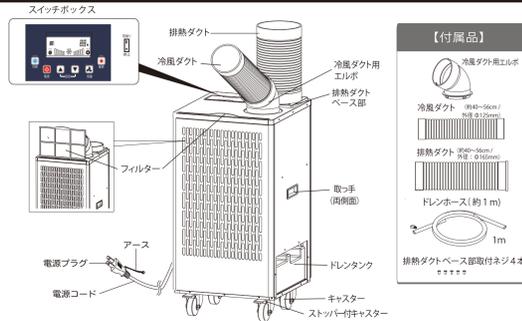
注意

- 運搬後、冷媒が落ち着くまで3時間以上時間を取ってから電源を入れてください。
- スイッチを「0」にした直後、すぐに運転を再開しないでください。必ず十分に立ち上がりしてから運転をおこなってください。
- 保護機能が働かず、冷えない（冷量が出ない）場合があります。
- 電圧の低下などによる過電流や異常過熱から圧縮機（コンプレッサ）を保護するために保護機能（オーバードローブプロテクター）が作動します。

廃棄について

本製品はフロンガスが使用されており、フロン排出抑制法に定める第一種特定製品として扱われます。廃棄するときは下記にご確認ください。  
※本製品は、特定回収業者が委託した適切に処理していただき、廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口にご相談ください。

各部名称と機能



冷風ダクトの取付け

エルボを取り付ける  
・冷風ダクト用エルボの爪部を冷風ダクトの凸部を本体上部エルボベースの凹部に合わせて奥まで差し込み、両手で回すと取り付けられます。

冷風ダクトを取り付ける  
・エルボの凹部と冷風ダクトの凸部を合わせて奥まで差し込み、矢印方向に力を加えて回すと取り付けられます。  
△注意 一度装着した冷風ダクト用エルボの取り外しはひかえてください。  
※暖房機を運転の場合は、温風は冷風ダクトから送風されます。

排熱ダクトの取付け

排熱口にベース部を付属ネジ4本で取付け、排熱ダクトを奥まで差し込み。

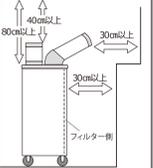
注意  
●冷風ダクトと排熱ダクトの間にものを落としたり、棒などを入れないでください。内部を傷めたり、故障の原因になります。  
●冷風ダクトと排熱口を塞がないでください。故障の原因になります。

本体の設置

- フィルター・冷風ダクトは吹き出し口から30cm以上、離して設置してください。
- フィルターは前面のみですので、壁に寄せて設置できます。

注意

- フィルターの前面、冷風ダクト・排熱口の吐出方向に障害物を置かないでください。
- 排熱口から熱風が排出されますので、熱に弱いもの等に直接熱風が当たらないように注意してください。
- 塩酸・硝酸等、著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所に設置しないでください。ガス漏れや、性能を低下させる恐れがあります。換気の出来る環境でご使用してください。
- ※前輪キャスターのストッパーをロックしてからご使用ください。



正しい使い方

本体と電源の接続

- 1. 電源は、直接コンセントへ差し込みください。

注意

- 電源は直接コンセントからとるのが望ましいのですが、やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に従ってご使用ください。
- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 電線の長さ | 公称断面積              |
| 15m以内 | 2.0mm <sup>2</sup> |
- 延長コードが細かったり、長すぎたりすると電圧降下により冷風が出ないことや運転しない場合があります。

- 2. アースネジに電源コードのアース端子を取付けてください。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

注意

- 次のところはアース線を接続しないでください。  
・ガス管…爆発や引火の危険があります。  
・水道管…プラスチックの部分があります。アース効果がありません。  
・避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。

警告

- 電気工事、アース工事は資格が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電遮断器の取付け・接地が義務づけられています。「漏電遮断機は 15A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください」

正しい使い方（つづき）

操作方法 PMSC-32J(冷/暖・自動首振り)

1. 運転方法と風量調整

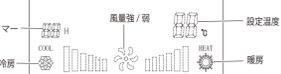
天板の上にあるスイッチボックスのふたを開き、運転切り替えボタンを押して運転を開始してください。電源ボタンを押し、「冷房COOL」または「暖房HEAT」機能を選択し運転を開始してください。「風量」ボタンで冷・暖房風量2段階を切り替えます。「設定」ボタンで冷・暖房の温度を設定します。「首振り」スイッチで自動首振り開始/停止を切り替えます。電源ボタンを押すと電源OFFになります。

※設定された冷・暖房、風量、風速はメモリーされます。電源が切れる、電源スイッチが押されたら送風されます。

スイッチボックス



機能指示パネル



自動ON/OFFタイマー機能設定

●延長タイマー  
電源 OFF 状態では、風量ボタンを押してタイマーが点灯したら設定ボタンで時間は0～24hから調節可能です。OFFタイマー  
電源 ON 状態では、風量ボタンを押してタイマーが点灯したら設定ボタンで時間は0～24hから調節可能です。

正しい使い方（つづき）

操作方法（つづき）

2. 自動首振り機能

運転切り替えスイッチ横にありますスイッチを入ると冷風ダクトが約120度自動首振ります。

注意

- 自動首振り機能をご使用になる際は、あらかじめ周囲に障害物がないことを確認してからスイッチを入れてください。

3. 風向きの調整

冷風ダクト用エルボは風向度約210度回転し、冷風ダクトはフレキシビリティを持っていますので動作範囲内でお好みの方向に調整してご使用ください。

約50度(約210度方向)

約210度



注意

- 冷風ダクト用エルボでの風向き調節の際は、冷風ダクト部が動かすのではなく、冷風ダクト用エルボを持って動かしてください。
- 冷風ダクトでの風向き調節の際は、冷風ダクト用エルボから冷風ダクトを取り外して冷風ダクトの調節を行い、冷風ダクト用エルボに取り付けてください。
- 冷風ダクト用エルボを取り付けたままでの風向き調節は、自動首振り機能の破損等、故障の原因になります。
- 冷風ダクトの中のものを入れて、棒などを入れないでください。内部部品をいためたり、故障の原因になります。

4. ドレンタンク

除湿した水はドレンタンクに溜まりますので定期的に水を捨ててください。除湿機は乾燥になると水滴が出ます。ドレンタンクの容量は5リットルです。ドレンタンクを事前に引き出すと本体から取外せます。※本機は、熱交換機の保護機能で除湿した水を、自動的に一部蒸発させています。このため、排水量が少量に留まることがあります。



注意

- 除湿した水は漏水になると水が溢れ出しますので、タンク満水になると水が溜まりましたら、除湿した水を捨ててください。（ドレン水を感知する機能は付いておりません。）
- 除湿した水の量はドレンタンクで確認してください。
- ドレンタンクの取出しおよび、水を捨てる際に、漏水時水が漏れる場合がありますのでご注意ください。
- 除湿水量は、外気温、湿度などや熱交換機やフィルターの汚れなどで大きく変わります。特に梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので、ご注意ください。
- 乾かしているのに、ドレンタンクに除湿水が溜まらないうちは、除湿機は本機内部でほとんど蒸発している最良の状態です。熱交換機やフィルターの汚れによりドレンタンク以外に水漏れしているのではありません。
- 本機を移動させる際は、除湿水が本体内に溜まりますので、除湿水を捨ててから移動させてください。
- ドレンタンクは奥までしっかりと入れてください。入れ方が不十分だと、水漏れの原因となります。

連続排水について

操作方法

1. ドレンホースの設置

- ◆ドレンタンク内の水を捨て、中を乾燥させておきましょう。
- 1時間ほど本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- 電子種の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされること、直射日光の当たるところは避けてください。



ドレンタンクを事前に引き出すと本体から取外せます。

お手入れと保管

お手入れ

1. フィルターのお手入れ

- ・フィルターを外せる位置まで冷風ダクトを回転させフィルターを上引き上げしてください。
- ・フィルターはホコリを電気掃除機などで吸ってください。
- ・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
- ・フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。



2. 本体のお手入れ

- ・やらかい布などを水またはぬるま湯に濡し、たたくしほってから使用してください。
- ・汚れがひどい場合は、お所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- ・→本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。

注意

- 洗剤をかけて掃除することは、絶対にしないでください。
- ドラッグストアなどで売られている洗剤は、必ず「中性洗剤」であることを確認してください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意事項に従ってください。

修理・保管等で取外す場合のご注意

冷風ダクトを取外す

本体から、冷風ダクトを取外す際は、冷風ダクトをゆっくり右側へ止まらずに回し引抜いてください。

注意

- 一度装着した冷風ダクト用エルボの取り外しは、ひかえてください。



お手入れと保管（つづき）

保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- ドレンタンク内の水を捨て、中を乾燥させておきましょう。
- 1時間ほど本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- 電子種の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされること、直射日光の当たるところは避けてください。

注意

- 保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電やケガをする原因となります。
- 本機を傾倒し、保管しないでください。
- 再始動のとき、コンプレッサなどの故障の原因になります。

※熱交換機、シロコファンなどの内部掃除は、お買上げの販売店または保証書に記載されている当社「商品」についての全般のご相談窓口にお問い合わせください。

「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

症状	お確かめください
スイッチを入れても運転しない	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? ブレーカーが切れていませんか? ブレーカーが切れていませんか? →一度電源を切り、3分以上待ってから再運転してください。 フィルター・冷風ダクト・排熱口が障害物でふさがれていませんか? フィルターが汚れていませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。
冷えない	ドレン口が詰まっていますか? ドレンタンクが満水ではありませんか? ドレンホースが詰まっていますか? ドレンタンクが正しくセットされていますか? 周囲の室温が18℃未満ではありませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?
水が漏れる	ドレンタンクが正しくセットされていますか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?
霜が付く	周囲の室温が18℃未満ではありませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?

次のような場合は点検・修理が必要です。

長年ご使用のスポットクーラーは点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか？

- スイッチを入れても運転が止まらないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 塵が舞い上がります。
- 電線の劣化がある。

ご使用中止  
故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからお買上げの販売店にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたら、保証が失効する場合があります。上記症状がなくても、お買上げ後4～5年程度たちましたら、安全のため点検をご依頼ください。点検費用につきましては販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス（必ずお読み下さい）

保証書	修理を依頼されるときは
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取り頂きます。内容をよくお読みいただいた上で、大切に保管してください。	■保証期間中は保証書をご提示下さい。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●ご不明な点や修理に関するご相談は、修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店または弊社までお問い合わせ下さい。

保証書

本書は、本書記載内容（無料修理規定に基づく）無料修理を行うことと約束するものです。お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼下さい。

●保証期間が終了したときは、修理すれば使用出来る場合には、ご希望により有償修理させていただきます。

●保証期間中に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼下さい。

●ご転居の場合は事前に お買上げ販売店にご相談下さい。

●本保証は電気部品においてのみ有効です。

●保証期間内でも次の場合には有償修理になります。  
(イ) 使用上の誤り (ロ) 不当な修理や改造による故障及び損傷  
(ハ) お買上げ後の落雷等による故障及び損傷  
(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や異常電圧による故障及び損傷  
(ホ) 本書の提示がない場合

(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合  
6. 修理は基本的に不具合部品の個別交換対応させていただきます。  
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。前記しないよう大切に保管して下さい。

プロモート株式会社  
〒565-0020 大阪府東淀川区 2丁目3番18号  
お客相談センター ☎06-6563-0066（受付時間）10:00～12:00 13:00～17:00（土、日、祝日を除く）